

一 般 質 問

議席番号	5	議員氏名	中 嶋 文 雄
項目・要旨	1. 寄居町公共施設等総合管理計画アクションプランに基づく寄居町環境事業所の進捗状況等について		
	<p>令和2年9月に策定された寄居町公共施設等総合管理計画アクションプランに基づき、寄居町環境事業所は令和3年度から解体に向けた調査・設計業務が開始されました。そこで、その進捗状況について伺います。</p> <p>(1) 寄居町環境事業所の現状について伺います。</p> <p>①年間の維持保全費用について</p> <p>②土地・建物の賃借料について</p> <p>③現在、資材置場として利用されている車庫棟の構造、延床面積と利用実績について</p> <p>(2) 解体に係る調査・設計業務の内容について</p> <p>①再編スケジュールどおり進んでいるか。</p> <p>②ダイオキシン類等の有害物質は存在しているか。</p> <p>③個別計画では解体事業の総額は250百万円が予定されているが、今後の見込額はどのくらいになるのか。</p> <p>④解体撤去に係る財源について</p> <p>⑤それぞれの施設（建物、コンクリート等）の解体方針及び方法について</p> <p>(3) 解体後の方針について</p> <p>①車庫棟を残す必要性について</p> <p>②敷地入口付近の借地について</p> <p>③町道2709号線における借地について</p> <p>④解体撤去後の跡地の活用方法について</p>		
	2. 県道広木折原線の改修工事の状況について		
<p>県道広木折原線は現在、本庄県土整備事務所と熊谷県土整備事務所管内で、それぞれ改修工事が進められており、本庄県土整備事務所管内ではすでに用地取得も行われ、改修工事に着手しています。一方、熊谷県土整備事務所管内では、いまだに改修の方法も明らかにされていません。両事務所が同一歩調で改修に当たることが、利便性の良い県道となることと思います。そこで伺います。</p> <p>(1) 現在の進捗状況について</p> <p>(2) 県道広木折原線整備促進期成同盟会の活動状況について</p>			

議席番号	2	議員氏名	保 泉 周 平
項目・要旨	1. 企業誘致の推進について		
	<p data-bbox="277 253 1469 651">寄居町は、企業誘致を推進するにあたり、土地利用・基盤整備・まちづくり・企業への優遇制度及び企業誘致推進体制等の基本的な方向性をもって、町の活性化に取り組まれています。特に企業誘致のための基盤整備では、道路網の整備・新駅整備の促進・工場用地の整備・立地企業従業員等の居住の促進等を進めてきています。その中でも、代表的な世界のホンダの寄居完成車工場が正式に令和4年1月1日に埼玉製作所と変更されましたが、寄居町の地域経済への効果は乏しく、盛り上がっていないのが現状です。しかし、寄居工場を取り巻く関連企業において、近隣に工場用地の確保に向けた動きは少なからずあるはずです。</p> <p data-bbox="277 667 1469 1016">現在、埼玉県企業局と寄居町で整備している寄居桜沢産業団地は令和元年8月からエントリー受付を開始して現在5区画中4区画に応募があり、残る1区画については令和4年2月10日から継続募集を行っている状況です。また、寄居スマートIC上り線出入口周辺の開発について、令和3年度の所信表明の中では、「農村地域産業導入実施計画の変更協議が整った際には、取り組みを加速する。」とありましたが、令和4年度では「民間開発の可能性も視野に入れ、取り組みを加速する。」とあります。そこで3点お伺いします。</p> <p data-bbox="277 1032 596 1070">(1) ホンダ効果として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="309 1086 900 1124">①町とホンダとの連携は取れていますか。 <li data-bbox="309 1140 1059 1178">②みなみ寄居駅の一般住民の利用状況はどうですか。 <li data-bbox="309 1193 1059 1232">③従業員向けに移住・定住の働きかけはしましたか。 <li data-bbox="309 1247 1187 1285">④ホンダ関連会社からの工場用地の問い合わせはありますか。 <p data-bbox="277 1301 724 1339">(2) 寄居桜沢産業団地について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="309 1355 1155 1393">①エントリー&オーダーメイド方式の効果はありましたか。 <li data-bbox="309 1408 1315 1447">②受け付け開始から2年半経過しましたが、長引いた理由は何ですか。 <li data-bbox="309 1462 740 1500">③地形の問題はありましたか。 <li data-bbox="309 1516 1347 1554">④大型車の出入りなどで、今後のインフラ整備の要望はなかったですか。 <li data-bbox="309 1570 1091 1608">⑤残りの1区画はどのような対応をしていくのですか。 <p data-bbox="277 1624 1139 1662">(3) 寄居スマートIC上り線出入口周辺地域の開発について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="309 1677 1469 1753">①寄居桜沢産業団地が完了しないと手がかからないとのことでしたが、今後の見込みはどうですか。 <li data-bbox="309 1769 1469 1845">②農村地域産業導入実施計画の変更による開発を検討してきましたが、民間開発の可能性も視野にとあります。県企業局との連携はどうなるのでしょうか。 <li data-bbox="309 1861 1469 1953">③用地に係る法規制への対応や必要なインフラ整備、地元住民の声は大事と考えますが、町の考えを伺います。 <li data-bbox="309 1968 1469 2045">④民間開発の可能性も視野に入れ、取り組みを加速するとありますが、地権者及び地元住民の理解は民間の対応に任せるのですか。 		

議席番号	7	議員氏名	大澤博
項目・要旨	1. 道路の安全について		
	<p data-bbox="277 277 1471 517">冬季は、気温が下がってくると道路が凍結し、滑りやすく危険です。降雪時の道路はさらに滑りやすくなり、自動車運転時にはカーブでの横滑りやブレーキの制動距離が伸び、止まりにくくなります。また、タイヤで雪が踏み固められ、アイスバーンにもなります。特に、山間部や橋・日陰等では、道路が凍り滑りやすくなります。</p> <p data-bbox="277 535 1471 674">自治体によっては、融雪剤を路肩に準備していますが、あまり雪の降らない地域になると、十分な備えができていないというケースもあります。道路の凍結は重大事故につながることもあり、対策が必要になるため伺います。</p> <p data-bbox="277 692 1027 728">(1) 凍結による危険町道を把握しているか伺います。</p> <p data-bbox="277 745 1059 781">(2) 凍結防止対策はどのように行っているか伺います。</p> <p data-bbox="277 799 1471 938">(3) 町民から、自動車の出入口が凍結して公道まで出られない事態を心配する声が寄せられています。町民に凍結する箇所を事前に聞き、凍結防止剤を配布することが出来ないか伺います。</p> <p data-bbox="277 956 1471 1041">(4) 道路の凍結は降雪が主な要因と考えます。降雪時の除雪対応はどのように行っているか伺います。</p> <p data-bbox="277 1059 1471 1144">(5) 高齢者世帯が増えて降雪時の除雪が出来ない方がいると考えます。生活維持に必要な公道までの除雪を町で出来ないか伺います。</p>		
	2. 移住・定住について		
	<p data-bbox="277 1225 1471 1619">令和4年度予算において、移住・定住を促進するための環境整備として、新たに空家等対策協議会を設置し、寄居町空家等の適切な管理に関する条例を上程すると所信表明にあります。当町においても年々空き家が増えています。コロナ禍でテレワークの普及により「地域に住み働きたいと考える人やこの機に移住に関心を持ち始めた人が増えた」と言われています。地方への移住情報を提供する「ふるさと回帰支援センター」では、2021年の移住相談件数が4万9千件と過去最多になったと公表しています。町には定住促進補助金、まちなか住宅取得支援補助金がありますが、さらなる空き家への移住支援が必要と考え伺います。</p> <p data-bbox="277 1637 1471 1722">(1) 移住・定住の支援情報を一度に見られる包括支援センターを設立し、移住・定住を促進すべきと考え伺います。</p> <p data-bbox="277 1740 1471 1928">(2) 就農するには、住居・農地・農業機械・作業場等の確保に多額の出費がかかります。移住・定住包括支援センターとは別に、空き農家・空き農業機械・空き農地情報を集め包括的に見られる就農情報ホームページを開設し、町内への就農者を増やすことができると考え伺います。</p> <p data-bbox="277 1946 1471 2085">(3) 耕作放棄地、未耕作地が増えています。農地の有効活用のため、農地所有者に承諾をもらい農地貸出一覧表を作成・公表し、借り手を町内外から募集することで、耕作放棄地、未耕作地を少なくすることが出来ると考え伺います。</p>		

議席番号	1 2	議員氏名	佐 藤 理 美
項目・要旨	1. 危機管理について		
	<p data-bbox="277 277 1471 313">(1) 災害時のトイレ対策について伺います。</p> <p data-bbox="306 327 1471 779">東日本大震災から間もなく11年目を迎えます。そうした中において近年、日本において頻発化・激甚化する自然災害への対策の強化が求められています。中でも、避難所の環境整備については、さらにきめ細かな対策が重要であると考えます。2011年の復興庁の報告によると、東日本大震災での震災関連死に関する死因において1263人中、避難所における死因が全体の3分の1をしめたとの報告があります。特に大規模災害時に多くの人が集まる避難所では、トイレ不足が問題となっております。避難所では、排尿回数を減らすために水分量の摂取を減らすという悪循環に陥りやすく、女性や高齢者、障がい者にとって災害時のトイレ対策は、生死に関わる重要な課題と考えます。そこで伺います。</p> <p data-bbox="306 792 1206 828">①寄居町における避難所での災害時トイレ対策の現状について</p> <p data-bbox="306 842 1270 878">②災害時のトイレに関する関係機関等との協定の締結状況について</p> <p data-bbox="277 900 995 936">(2) トイレトレーラー導入推進について伺います。</p> <p data-bbox="306 949 1471 1662">トイレの問題を解決する一つの方策として、一部の自治体で移動式トイレ、いわゆるトイレトレーラーの導入検討が進んでおります。トイレトレーラーを導入した自治体が相互に連携協力し、災害時のトイレ不足の解消を図り、二次災害を防ぐ助け合いのネットワーク構築を目的に、一般社団法人助けあいジャパンが主導して災害派遣トイレネットワークプロジェクトが全国展開されています。いち早くトイレトレーラーを導入した静岡県富士市においては、各地の避難所へトイレトレーラーを派遣設置し、避難者からは明るく清潔だと高い評価を得ております。トイレトレーラーは1500万円と高額ですが、導入自治体では国の緊急防災減災事業債を活用し、起債額の70%が普通交付税で措置され、さらに自己負担30%はふるさと納税クラウドファンディングの方法による自主財源で対応しています。従って財政負担0円の見込みとなります。組み立て式簡易トイレや使い捨て携帯トイレ等では、衛生面やプライバシー保護の観点から不安は払拭できません。町民の命と健康を守るため、トイレトレーラーを導入し、災害派遣トイレネットワークへの参加について伺います。</p>		
	2. 町の将来ビジョンについて		
	<p data-bbox="306 1742 1059 1778">令和4年度の重点施策の取り組みについて伺います。</p> <p data-bbox="277 1792 1471 2132">花輪町政も早いもので2期目の最終年度を迎えます。また、令和4年度は第6次寄居町総合振興計画後期基本計画のスタートの年でもあり、さらに新型コロナウイルス感染症が確認されてから3年目を迎えます。感染症の拡大により、人々の生活は大きく変化し、社会経済への影響も否めない状況の中、当町の令和4年度当初予算概要では、新型コロナ対策を含め、高齢化等による社会保障費の増加や中心市街地の活性化事業、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の更新などに多額の財政需要が見込まれ、引き続き厳しい財政運営となることが予想されるとあり、また、</p>		

こうした財政状況を踏まえた上で創意工夫に努め、最少の経費で最大の効果を上げるべく予算編成に臨んだとあります。そこで、町政運営の主要施策の取り組みについて伺います。

(1) 「教育施策の充実強化」について伺います。

花輪町政において、大きく教育施策に舵取りを行い、未来を担う子どもたちのために教育の充実を図り、様々な取り組みを展開していただいております。学力向上を図るため、放課後学習塾として「より・E土曜塾」「より・E小学生英語塾」の導入や無償での英語検定実施、さらに無償化による算数検定導入などが予算計上されております。また、未来を担う子どもたちのため、学習環境整備事業に多額の予算が計上されており、令和4年度予算において主要施策の1番目に「教育施策の充実強化」を掲げていただいております。そこで伺います。町として、どのように教育施策の充実を推進していくのか伺います。

(2) 「中心市街地の活性化」について伺います。

令和4年度当初予算では、中央通り線の整備をはじめ、寄居駅南口のハード事業を進めるとともに、ソフト事業にも取り組むとあります。そこで、寄居町の顔ともいべき寄居駅南口周辺整備事業をどのように展開していくのか伺います。

(3) 「移住・定住の促進」について伺います。

少子高齢化が進む中において、若い世代の流出や空き家の増加が当町においても課題であると考えます。課題解決のため、新婚世帯への家賃補助事業は近隣市町の中ではいち早く導入していただき、また若い世代への住宅取得支援事業も展開していただいております。さらに令和4年度予算において、空き家対策の取り組みでは空家等対策協議会を設置するとしています。課題解決の一步であり、町として協議会に期待するところは何なのか、及び定住促進の強化を図るための取り組みについて伺います。

議席番号	8	議員氏名	津久井康雄
項目・要旨	1. 中心市街地活性化について		
	<p>令和4年度所信表明では、寄居町が目指す「可能性 ∞ 笑顔満タン よりいまち」の実現に全力を尽くしてまいりますとあり、また、重点施策を「教育施策の充実強化」「女性の活躍推進」「健康長寿」の3つと定め、さらに「中心市街地の活性化」「企業誘致の推進」「移住・定住の促進」の3つのテーマを加え、積極果敢に施策を展開してまいりますとありますが、「中心市街地の活性化」「企業誘致の推進」「移住・定住の促進」について伺います。</p>		
	<p>(1) 中心市街地活性化のハード面、都市計画道路中央通り線工事は、順調に施工されています。また、寄居駅南口駅前拠点施設は入札も終了し、契約議案の承認後着工となりますが、「供用開始後を見据え、町民のみなさまに積極的な参画をいただきながら、各種ソフト事業にも取り組み、賑わいと笑顔溢れるまちづくりに強い決意で取り組んでまいります。」とあります。そこで伺います。</p> <p>①町民のみなさまに積極的な参画をいただくとありますが、いつ、どこで、だれに参画いただくのか伺います。</p> <p>②各種ソフト事業とはどのような事業なのか伺います。</p> <p>③寄居駅南口駅前拠点施設の運営は公設民営と伺っていますが、運営は株式会社まちづくり寄居か、寄居町観光協会かを伺います。</p> <p>(2) まちなか居住の推進について、「中心市街地の住宅取得支援事業や未利用町有地の売却、街路整備による利便性の向上や魅力ある町並みの創出により、中心市街地への居住誘導を進めていきます。」とのことですが、そこで伺います。</p> <p>①中心市街地の住宅取得支援事業の令和3年度実績について伺います。</p> <p>②未利用町有地の売却について、未利用町有地は何平方メートルあるか伺います。</p> <p>③街路整備による利便性の向上や魅力ある町並みの創出について、具体的な施策を伺います。</p>		
	2. 企業誘致の推進		
<p>(1) 寄居桜沢産業団地の進捗状況について伺います。</p> <p>(2) 本田技研工業株式会社の三部敏宏社長は、「2050年にカーボンニュートラルを実現する」という大きな目標を掲げ、欧州・日本で新型電気自動車「Honda e」の発売を開始しています。この新型電気自動車「Honda e」は寄居工場で作っています。企業誘致を推進するため、EV車関連企業などへそうした状況の案内やお知らせ等を行っているか伺います。</p> <p>(3) 寄居スマートIC上り線出入口周辺地域の開発について、「農村地域産業導入実施計画の変更による開発を検討してまいりましたが、民間開発の可能性も視野に入れ、取り組みを加速してまいります。」とあります。取り組み方法を伺います。</p>			
3. 移住・定住の促進			
<p>(1) 若い世代・子育て世代に定住促進補助事業を継続していくとのことですが、令和2年度及び令和3年度の実績を伺います。</p>			

議席番号	9	議員氏名	鈴木詠子
項目・要旨	1. 女性の活躍推進について		
	<p data-bbox="277 280 1474 728">昨年5月、女性活躍推進法が改正され、民間については大企業だけに課されていた行動計画の策定義務が、2022年4月からは中小企業にも拡大されることとなりました。当町におきましても、令和4年度予算における重点施策の一つに「女性の活躍推進」を掲げ、女性の能力や個性を存分に発揮し、それぞれのライフステージに合わせた活躍を目指すこととしております。しかし、新型コロナにより、家事や育児、介護などが女性に偏っている実態が浮き彫りになると同時に、貧困、暴力被害などさまざまな困難を抱える女性の存在が顕在化され、そうした課題についてあらためて検討する必要があると考えます。誰も取り残さない持続可能なまちづくりのための町の考えを伺います。</p> <p data-bbox="277 745 694 779">(1) 妊娠・出産支援について</p> <p data-bbox="309 797 1302 831">①産後うつ対策としての全妊産婦を対象とした産婦健康診査について</p> <p data-bbox="277 848 596 882">(2) 育児支援について</p> <p data-bbox="309 900 1468 987">①こども医療費、ひとり親家庭等医療費、重度心身障害者医療費給付事業の県内現物給付化事業について</p> <p data-bbox="309 1005 1468 1093">②「子ども食堂」の実施、新たな連携によるつながりの場づくり緊急支援事業について</p> <p data-bbox="277 1111 1107 1144">(3) 介護支援及びケアラー・ヤングケアラー支援について</p> <p data-bbox="309 1162 1043 1196">①社会福祉法人等利用者負担軽減助成事業について</p> <p data-bbox="309 1214 1267 1247">②ケアラー入院時の要介護者及び医療的ケア児の受け入れについて</p> <p data-bbox="309 1265 1043 1299">③町独自のヤングケアラー実態調査の実施について</p> <p data-bbox="309 1317 1331 1350">④ケアラー月間及び学校でのヤングケアラーブック等での啓発について</p> <p data-bbox="277 1368 694 1402">(4) 女性の活躍支援について</p> <p data-bbox="309 1420 1235 1453">①当町の「行動計画」における女性採用比率と数値目標について</p> <p data-bbox="309 1471 979 1505">②町職員の在宅リモートワークの推進について</p> <p data-bbox="309 1523 1468 1610">③働きながらの治療をケアするアピアランスケア医療用ウィッグ等の助成について</p>		
	2. LGBTQへの支援について		
	<p data-bbox="277 1695 1474 2031">埼玉県内のパートナーシップ制度導入数が全国最多の24自治体となり、さらに私たちの多様性を尊重した人権感覚が求められています。奇しくも当町に国内拠点が集約されるHondaは日本の職場におけるLGBTなどのセクシャル・マイノリティへの取り組みの評価指標である「PRIDE指標2021」において、最高ランクのゴールドを受賞しました。地元自治体として、社会のダイバーシティ（多様性）をリードする企業とのコミットメントの必要性も喫緊の課題です。そこで町の考えを伺います。</p> <p data-bbox="277 2049 1171 2083">(1) 人権問題に関する町民意識調査の調査結果と分析について</p> <p data-bbox="277 2101 1331 2134">(2) パートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入と広域連携について</p>		

(3) 性の多様性を尊重した教育の推進について
(4) 今後の男女共同参画に関する意識調査及びLGBTQの意識調査について

議席番号	15	議員氏名	田母神節子
項目・要旨	1. 「基本目標1 夢と創造力にあふれ未来を拓く人を育むまち」について		
	若い世代が寄居町で家庭を持ち、暮らし続けたいと思えるには何が必要かを考えてみました。そして、寄居町が大好きな小・中学生をどう育てるか。そこで伺います。		
	(1) 貧困や格差を感じさせない、誰もが認め合い競争中心ではなく、個々が花開く学びの場所に学校がなっているか伺います。		
	(2) 少人数学級で先生と子どものコミュニケーションが図られているか伺います。		
	(3) 地域の力を借りて共に育ちあうことが出来ているか伺います。		
	2. 「子育てするなら寄居町」と胸を張って伝えるまちについて		
この間、子どもの医療費18才までの無料化や第3子の保育料の無償化、また第3子の給食費の無償化等々に取り組んできました。そこで伺います。			
(1) 給食費の完全無償化について			
(2) 通学児童・生徒の補助について			
(3) 安心して子どもを預けるために、そこで働く保育士への処遇改善について			
(4) 学童保育の充実と保育所整備について			
(5) 低廉な住宅の提供と家賃補助について			
3. 「基本目標3 支えあいとふれあいのある健康長寿のまち」について			
健康づくりの推進については、疾病の早期発見や治療・介護予防などの体制を確保してまいりますとありますが、病気にかかっても病院に行けない問題があります。医療費の窓口負担については深刻です。そこで伺います。			
(1) 国民健康保険税の均等割が就学前まで50%軽減となりました。18才まで軽減できないか伺います。			
(2) 年金の支給は2カ月に1回ですが、うまく使えない人が出ています。月1回の支給のために町は力を貸せないか伺います。			
(3) 後期高齢者の医療費負担1人2,292円アップにあたり、広域連合議会では156億円の剰余金のうち136億円を保険料上昇抑制の財源に充てるとしていますが、その他財政安定化基金101億円は全くの手つかずです。全ての剰余金を使って値上げをおさえるべきと考えますが、町の考えを伺います。			
(4) 窓口2割負担が10月より実施されますが、当町の該当者数と払えない人への減免措置についてどのように考えていますか。			
(5) 介護保険制度ができて以来、大里広域市町村圏組合で運営してきましたが、県内でも広域で行っているのは大里だけになっています。地元住民の皆さんの直接の声を制度に生かすには、市町ごとでやる方が良いのではと思いますが、町の考えを伺います。			
(6) 健康長寿には規則正しい生活習慣が重要といわれています。とりわけ毎日の食事がバランスのとれた食事となるよう専門家からアドバイスを受けることも大切ですが、スーパー等買い物に行けない人が増加しています。そこで伺います。			

循環型のスーパーマーケットが週1回でも、必要と申し出た地域の公民館等に来てくれるような対策を考えてもらえないか伺います。

(7) 社会福祉法人等利用者負担軽減助成事業について、内容を伺います。

議席番号	1 3	議員氏名	稲 山 良 文
項目・要旨	1. 学校施設の長寿命化について		
	<p data-bbox="277 277 1471 622">町内の学校施設は、昭和40年代に建設された施設が多くあり、児童生徒が将来減少していくことが推計されている状況下においては、どのように対応していくかが大変重要なこととあります。私自身も議員活動において、男衾中学校の建替えありきで旗を振ってきたことも事実ではありますが、耐力度調査の結果等、客観的なデータに基づく説明を議員全員協議会、あるいは同僚議員による一般質問に対する答弁で十分理解でき、何よりも男衾地域の子どものために一日も早く進めるべきであると考えております。</p> <p data-bbox="277 640 1471 882">花輪町長は、先日の新年度予算概要説明会や所信表明において、長年の懸案であった男衾中学校舎の整備について、第6次寄居町総合振興計画後期基本計画に定めたとおり、大規模改修による長寿命化に着手することを明確に示し、男衾地域の住民も大いに喜んでいることと思います。そこで、これからの男衾中学校の整備について町長に伺います。</p> <p data-bbox="277 900 1471 1093">(1) 第6次寄居町総合振興計画後期基本計画では、昨年12月議会で「学校施設の長寿命化・集約化の推進」の内容について文言修正の発議があり、対話により地域との調整を図りつつ進めるよう修正されましたが、町はどのように取り組むのか伺います。</p> <p data-bbox="277 1111 1471 1196">(2) 新年度予算では男衾中学校の設計業務委託料が計上されていますが、地域との対話は新年度になってどのようになるのか伺います。</p> <p data-bbox="277 1214 1471 1256">(3) 新年度の設計業務のスケジュールはどのようになるのか伺います。</p>		
	2. 花輪町長の2期目4年間の行財政運営について		
<p data-bbox="277 1326 1471 1671">2022年2月24日、ロシア国がウクライナ国に軍事侵攻し、ウクライナ国の首都キエフに向けて進撃を続けている現状です。G7はロシア国に経済金融制裁を発動し、侵略戦争を停戦させる手段をとったとの報道がありました。これが国際情勢です。日本の景気は新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況で、さらにオミクロン株の流行拡大で不透明な社会経済状況が続いています。通常社会経済活動に戻すべく、岸田首相は成長と分配の好循環を実現することで成長軌道に乗せる経済対策、すなわち新しい資本主義を推進すると述べられています。</p> <p data-bbox="277 1688 1471 1877">当町においても、高齢化の進行や障害者福祉サービスの利用促進など社会保障費の累増、中心市街地の活性化事業、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の更新、撤去事業などに多額の財政需要が見込まれ、厳しい財政運営が予想される現状です。</p> <p data-bbox="277 1895 1471 2132">このような社会情勢の中、花輪町長は第6次寄居町総合振興計画後期基本計画を策定し、令和4年度の行財政運営に関する所信表明では甚大化する自然災害や社会全体のデジタル化、カーボンニュートラルの実現など大きく変化する時代の潮流をしっかりと読み、人口減少、少子高齢化などの町の課題を真摯に受けとめ、寄居町が目指す「可能性 ∞ 笑顔満タン よりいまち」の実現に全力を尽くすと述べて</p>			

います。

花輪町長は平成26年8月、保守系多数の支持を受け厳しい選挙を勝ち抜き、見事当選されました。就任以来2期8年近く、「見ます 聴きます 話します 説明と納得のまちづくり」を一貫した政治信条として、現場主義に徹した町民目線で開かれた行財政運営を推進してきました。町議会対応についても丁寧な説明と調整に努められ、議会のチェック機能も十分生かされ、緊張感を持った良好な関係が保たれたと私は自負しています。

ここで本年8月、2期目4年の任期を迎える町長に4年間の行財政運営について、総括を踏まえ実績についてお伺いします。

3. 次期町長選への立候補について

令和4年度の行財政運営に関する所信表明を見ますと、町が直面する課題の解決に向け、第6次寄居町総合振興計画後期基本計画に定める事業を積極的に推進する予算を編成し、2期目の集大成の年として、町民のみなさまと手を携え、誰もが活躍できる町、笑顔を溢れる町の実現に向け、全身全霊をもって取り組んでまいり所存と力強く述べられています。

令和4年度予算には重点施策に「教育施策の充実強化」「女性の活躍推進」「健康長寿」の3つを定め、さらに「中心市街地の活性化」「企業誘致の推進」「移住・定住の促進」の3つをテーマに加え、第6次寄居町総合振興計画後期基本計画を推進・実現するため、しっかりと道筋をつけなければならない事業が山積しております。

ここで町長にお伺いします。

花輪町長の2期8年間の行財政の執行は十二分に成果をあげ、高く評価できます。このようなことから、引き続き3期目も町政を担っていただきたく、強く要望し期待しております。3期目に向けて、町長の思いを聞かせていただきたく伺います。

議席番号	1 1	議員氏名	岡 本 安 明
項目・要旨	1. 段階的な給食費の無償化について		
	町長は就任以来、自らの公約に基づき、段階的に第3子以降の児童生徒の給食費無償化を実施してまいりました。そこで伺います。		
	(1) 過去6年間、第3子以降の無償化を継続してまいりましたが、そろそろ段階的に第2子以降の無償化、さらには第1子からの無償化（全員無償）を実施するお考えはありませんか、伺います。		
	2. 男衾中学校の長寿命化について		
	町は男衾中学校の長寿命化について、加速度的に動いているようですが、そこで伺います。		
(1) 男衾中学校が国からの補助金に該当しないのが分かったのはいつですか。西暦何年、何月と正確にお答えください。			
(2) 昨年（2021年）12月定例会最終日に、第6次寄居町総合振興計画後期基本計画が議員発議で修正動議があり、修正案が可決されました。そこで、なぜ修正になったのか、どこが悪かったのか、ご認識を伺います。また、それは改善されましたか、改善されませんでしたか。改善されたとすれば、今年（2022年）の第1回定例会（3月議会）のどこに反映されたか伺います。			
(3) 令和4年1月30日（日）に、男衾地域振興推進協議会主催で予定されていた男衾中学校問題についての住民説明会が、新型コロナウイルス感染者の急増により、やむを得ず延期となりました。			
また、令和4年1月23日（日）に予定されていた小・中学校の保護者を対象とした町が主催する男衾中学校の校舎長寿命化に係る説明会も、新型コロナウイルス感染者の急増により、やむを得ず中止となりました。そこで伺います。			
①町主催の小・中学校の保護者を対象とした説明会（1月23日）をなぜ、男衾地区の地元説明会（1月30日）の前に設定したのか伺います。			
②町主催の説明会は中止でなく、コロナが収まるまで延期とした方が良かったのではないですか、その方が、町長の真意も伝わるし、保護者の生の声も聞けたはずです。その点はいかがですか、伺います。			
③町主催の保護者の説明会には、地元議員に何の連絡もなかったとのことですが、連絡ミスですか、それとも連絡（情報提供）さえ必要ないとのこと判断ですか、伺います。			
④町主催の説明会の中止に伴い、子どもに保護者宛てのプリントを持たせました。子どもへのプリントは極めて効率が悪く、何人の子どもが親へ渡すか、何人の親が読むか、まして電話、メール、電子メールなどで意見や質問する親が何人いますか。町はこれで済んだとお考えでしょうか、伺います。			
⑤男衾中学校の説明会が中止とのことで、プリントされた保護者への説明文では、「建替え」から「大規模改修」へとすでに決定事項のように書かれています。まだ新年度の予算審議も始まらないのに、決定したかのような文章は誠に遺憾			

に存じます。町長の真意をお伺いします。

- (4) 令和4年2月17日に男衾地域の区長を通じて、男衾中学校整備方針というA3版のプリントが回覧されました。もし、決定事項なら、広報よりいで1～2頁を使い周知した方が全町に分かり、大きな経費の削減にもなり周知の徹底にもなります。いかがでしょうか。それとも、他の目的があったのなら教えてください。
- (5) 令和3年12月議会で、「学校施設の長寿命化の推進」の取り組みで、長寿命化・集約化を『対話により地域と調整を図りつつ』に修正され可決されました。そこで伺います。対話により地域と調整できたから、まだ予算審議前ですが、決定事項のように保護者へのプリントや回覧文書に書いているのでしょうか、伺います。また、回覧の下段に書いてある「なお、事業の実施にあたっては、対話により地域と調整を図りつつ、計画的に進めてまいります。」とありますが、これはどのような意味か教えてください。
- (6) 町長の第2ステージ（2期目）の公約に、もっと「見ます・聴きます・話します。ていねいな説明と町民が十分納得できるまちづくり」とありますが、今でも実践されていますか、お伺いします。